

## 多文化理解委員会事業報告書

委員長 岡田 圭

昨年、長谷川理事長より多文化理解委員会の委員長を任命して頂き、何とか1年勤め上げることが出来ました。例年と言う国際系の委員会ですが今年度は多文化理解と改められました。何をしていけば良いのか自分なりに理解するのに時間がかかってしまい、委員会基本方針がなかなか決まらず、執行部をはじめ多くの方にアドバイスを頂き、自分に落とし込んだのを昨日のこのように思い出します。

今年1年は「共存共栄」をスローガンに、互いを理解し合う為には、まず自分たちの文化・歴史を知らなければならぬと考え、4月例会では世界的に認知されている「和食」を題材に、映像と実食という手法を使って日本文化の奥深さ、素晴らしさを再認識してもらいました。例会前日に映像の入っていたPCが壊れてしまい、例会開催出来ないのではないかと正直思いましたが、伊藤副委員長・委員会メンバーの助けによって無事に開催でき、ほっとしたのを覚えています。

また、11月例会では昔から大切に引き継がれてきた建物・場所を見ることで日本人の国民性を感じてもらう為に、伊勢神宮で早朝4時と前例のない時間帯で開催しました。委員会でいろんな意見を出し合い準備してきたので、例会内容には自信はありましたが、平日早朝という事でメンバーの出席率を心配しました。まだ夜も明けない薄暗い時間からの特別参拝・講演と、実際に肌で感じ体験してもらう事で日本人が持つ精神性に気づいてもらえたと思います。

第43船とうかい号一般乗船者のサポートでは、乗船者と信頼関係を築き不安を少しでも解消してもらう事を考え行いました。サポートする難しさを感じながら、どうすれば不安なく研修に専念してもらえるかを常に考え、最後まで全力でサポートをしました。

また、事務局から送られてくる書類の対応に追われながらも、寄港地で迎への段取りを行うなど盛りだくさんの事業でしたが、とても良い事業で関わることができて本当によかったと思います。

最後になりますが、私は委員長としては頼りない部分が多々ありました。それを帳消しにするほどの知識と経験を持ったメンバーと、行動力抜群で誰も考えないようなアイデアを出し、委員会メンバーをしっかりとまとめてくれた伊藤副委員長の支えが無ければ1年間無事に終えることが出来なかったと思います。本当にありがとうございました。

### <事業報告>

3月28日	第43回J C青年の船「とうかい号」LOM説明会	鈴鹿青年会議所会館
4月10日	三重ブロック協議会 第43回J C青年の船「とうかい号」結団式・オリエンテーション	津センターパレス
4月29日	東海地区協議会 第43回J C青年の船「とうかい号」結団式	名古屋公会堂
5月12日	第43回J C青年の船「とうかい号」LOM壮行会（5月度例会）	鈴鹿青年会議所会館
5月15日	東海地区協議会 第43回青年の船「とうかい号」壮行式	名古屋港水族館
6月5日	第43回青年の船「とうかい号」出港式	名古屋港ガーデン埠頭
6月8日	第43回青年の船「とうかい号」寄港地出迎え並びに交流パーティー	台湾
6月12日	第43回青年の船「とうかい号」帰港式	名古屋港ガーデン埠頭
6月14日	第43回J C青年の船「とうかい号」LOM帰船報告会（6月度例会）	鈴鹿青年会議所会館
4月12日	4月度例会	鈴鹿青年会議所会館
9月12日	9月度例会	伊勢神宮・伊勢修養団
通年	創立45周年ビジョン実現、検証に関する事項	
通年	自国文化と多文化理解に関する事項	
通年	その他、地域外国人との共生に関する事項	
通年	会員の拡大に関する事項	
通年	出席率の向上に関する事項	
通年	J C青年の船「とうかい号」に関する事項	